



東京大学 教授
工学博士

坂村 健

東京大学大学院情報学環教授。工学博士。オープンなコンピュータアーキテクチャ TRONを構築、携帯電話、家電などの組込OSとして世界中で多数使われている。ユビキタス社会実現のためIoTの研究を推進。2002年よりYRPユビキタス・ネットワーキング研究所長を兼任。2003年紫綬褒章、2006年日本学士院賞、2015年TU150Award受賞。



株式会社富士通総研 執行役員
エグゼクティブコンサルタント

細井 和宏

富士通株式会社入社以来、電力および製造業のSEとして業務システム開発からSIプロジェクトマネージメントを実践してきた。2006年から株式会社富士通総研でビジネスコンサルティングを開始。海外駐在経験も活かし、製造業のお客様を中心とした経営戦略立案、業務プロセス革新、グローバルERP戦略策定を深耕。現在はワークスタイル変革やグローバルWeb統合戦略なども加え、様々なテーマの知見を基にお客様の経営・業務課題解決に携わっている。



株式会社富士通総研 金融・地域事業部
シニアマネージングコンサルタント

隈本 正寛

1998年にさくら銀行（現三井住友銀行）入行、2000年に株式会社富士通総研入社。入社以来、海外先進金融機関におけるIT活用動向調査、金融機関に対するIT戦略策定コンサルティング、ビジネスコンサルティングなどを実施。直近では、Fintech最新動向の調査と海外Fintechソリューションの日本での適用に向けたコンサルティングを実施。

会場案内

経団連会館 [2階国際会議場]

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2
TEL 03-6741-0222 (直通)



- 東京メトロ千代田線「大手町」駅下車 C2b出口直結
- JR線「東京」駅下車(丸の内北口)より徒歩20分

株式会社 富士通総研

(富士通総研フォーラム事務局)
〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー
TEL 03-5401-8417

ホームページからお申し込みください

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fri/resources/events/fri/>

富士通総研フォーラム 2015

Redefine : 顧客価値の再定義 —IoT/IoMの本質的価値とチャレンジ—

参加費無料

日時：2015年11月11日(水) 15:00 ~ 17:30

会場：経団連会館 2階 国際会議場

株式会社 富士通総研 (FRI)

協賛：富士通株式会社

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

ご挨拶

拝啓 錦秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

富士通総研では、この度、富士通総研フォーラム2015「Redefine：顧客価値の再定義—IoT/IoMの本質的価値とチャレンジ—」を開催いたします。

昨今、一見、説得力があるように見えて具体性がなく、明確な合意や定義のないキーワードが大流行しています。しかし今回の「富士通総研フォーラム」では、現実の様々な社会経済の実態変化を後から捉えて比喩的に使うだけでない、本質的な変化や意味を持つ2つのキーワードを取り上げます。それは「IoT」(Internet of Things)と「IoM」(Internet of Money)です。「IoT」はモノ、「IoM」はBitcoinなどに代表されるお金のインターネットです。インターネットがインフラとなっていて起きている変化をモノとお金の両面から捉え、「イノベーション」と言われているものの本質に迫りたいと考えています。

今回の「富士通総研フォーラム」では、富士通や富士通総研が具体的に関わっている内容について、どのような思いや狙いでチャレンジしているのか、そこで直面している課題はどのようなものがあるのか、解決の糸口はあるのか、など、第一線で活躍しているコンサルタントから、赤裸々にプレゼンテーションの中でお伝えします。IoT/IoMの本質的価値を肌で感じていただき、皆様のビジネス価値や質的向上に何らかのヒントとなることができたなら幸いです。

ご多用中のこととは存じますが、当フォーラムにご参加賜りますよう、ご案内申し上げます。

敬具

株式会社富士通総研 代表取締役社長
本庄 滋明

Redefine：顧客価値の再定義 —IoT/IoMの本質的価値とチャレンジ—

15:00～15:10

開会挨拶

株式会社富士通総研 代表取締役社長

本庄 滋明

15:10～16:10

基調講演

「IoT (Internet of Things) の可能性と課題」

東京大学 教授 工学博士 坂村 健

IoT (Internet of Things) とはコンピュータが組み込まれたモノ同士がネットワーク連携して社会や生活を支援するという考え方である。まさに私が30年前に提唱してきた「どこでもコンピュータ」の世界が、技術の進歩により、ようやく普及の本番を迎えようとしている。民間だけでなく、世界各国が国家的なプロジェクトとして取り組んでいる。あらゆる分野、産業において新たなイノベーションをもたらすこのIoTの可能性と課題について述べる。

16:10～16:30

休憩

16:30～17:00

講演 1

「IoTは日本のモノづくり飛躍の要
—擦り合わせ型生産は垂直・水平統合を融合して生まれ変わる—」

株式会社富士通総研 執行役員 エグゼクティブコンサルタント 細井 和宏

日本の産業は「擦り合わせ能力」の高さが差別化の源泉だと言われ、特に製造業では設計から製造・出荷までの垂直統合型モデルが主流である。いわば系列や事業部制のつながりをベースにした強い統合であるが、その一方でサイロ化を進めてしまったとも言える。しかし、IoTの進展がよりオープンでつながる世界をもたらすことを経営者が理解・直視し、日本のモノづくり価値をさらに強化するには、日本流の擦り合わせを見直し、市場に対する垂直統合と生産における水平統合を組み合わせたハイブリッドシナリオを考えるべきではないか。

17:00～17:30

講演 2

「Fintech がもたらす金融サービスの再定義と顧客経験価値」

株式会社富士通総研 金融・地域事業部 シニアマネージングコンサルタント 隈本 正寛

金融とITが融合した新たなサービスの潮流「Fintech」がスタートアップ企業を中心に登場し、伝統的金融機関は金融サービスの再定義が迫られている。金融サービスは情報生産を本質としていることから、ITによる革新がそのあり方や競争環境にも影響を与え、IoT、人工知能、暗号技術など近年の技術革新によってさらに進展する可能性がある。我が国でも金融庁の金融審議会での議論が開始されるなど、金融業界全体を巻き込んだ「うねり」となりつつある。Fintechの潮流を踏まえ、我が国金融機関における取り組みの方向性や当社の取り組みについて紹介する。

17:30

閉会

※プログラムの内容は一部変更になる場合がございます。